

令和 7 年度産地交付金の追加配分の活用(案)について

1 令和 7 年度産地交付金の追加配分について

令和 7 年度の産地交付金については、国から約 195 百万円の追加配分があった。

追加配分の扱いについては、「令和 7 年度産地交付金について」（令和 6 年度第 3 回総会議決）に基づき、概ね全額を地域協議会に配分し活用を促したものの、不用額が発生したことから、「福島県水田収益力強化ビジョン」で定めた県設定メニューの単価の増額に活用する。

○追加配分額の内容（輸出用米やそばの作付等に係る配分は除く）

- ・地力増進作物の作付け 228 千円
- ・畑地化に伴う調整 -6,797 千円
- ・水活予算残に伴う留保解除 117,339 千円
- ・追加配分※ 84,486 千円

※ 追加配分について、国から、令和 8 年産の戦略作物等の作付けにつながる取組への支援を想定しているが、これらに限定せず、各地域の課題に応じ柔軟に活用するよう指示があった。

2 県設定メニューの単価の増額について

県設定メニューの単価について、物価高騰による生産費の増大等の影響を受け、令和 8 年度に向けた作付転換の取組の維持を図るため、追加配分を活用して令和 7 年度に限り上限単価を以下のとおり引き上げる。

整理 番号	使途	当初単価(上限) 円/10a	変更後単価 円/10a
1	飼料用米多収品種推進助成	4,000(5,000)	11,000
2	加工用米複数年契約助成	16,000(19,000)	29,000
3	新市場開拓用米取組拡大助成	16,000(19,000)	29,000
4	飼料用トウモロコシ助成	4,000(4,000)	9,000
5	麦・大豆生産拡大助成	5,000(10,000)	20,000

〔引き上げの考え方〕

- 1 上限単価を 10,000 円引き上げる（当初上限単価の 2 倍以内とする）。
- 2 配分額を有効活用するため①④を 1,000 円単位で引き上げる。

3 令和7年度実績見込みについて（令和8年1月21日現在）

本案により設定単価の増額調整等を行った場合、未使用率は0.8%となる見込みである。（令和6年度の未使用率は0.6%）

なお、取組状況等に応じて変動する可能性がある。

（単位：千円、%）

項目	県域	地域	県全体
当初配分	347,879	832,313	1,180,192
追加配分 （地力増進作物助成）	0	228	228
配分額の調整 （※1）	3,327	191,701	195,028
過不足調整 （余剰分の調整）	177,824	▲ 177,824	0
合計	529,030	846,418	1,375,448
（比率）	38.5%	61.5%	100.0%
実績	518,672	846,283	1,364,955
残額	10,358	135	10,493
未使用率	2.0%	0.0%	0.8%

※1 配分額の調整の内容：

（単位：千円）

①畑地化に伴う調整（減額）	▲ 6,797
②水田活用の直接支払交付金予算残に伴う留保解除（増額）	117,339
③追加配分（増額）	84,486